

一般質問通告表

令和6年第4回沖縄県議会(定例会)

12月10日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	17分	高橋 真(公明党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 県出資の子会社「県ワシントン事務所」に関して地方自治法243条3の2違反をはじめ、様々な課題が決算委員会の総括質疑で明らかとなり、決算不認定となったことについて知事の見解を伺います。</p> <p>2 リゾテックオキナワ推進事業について</p> <p>(1) 事業の概要、目的、これまでの参加企業数、来場者数の実績や事業予算の推移等、成果を伺います。</p> <p>(2) 逆商談ブースの活用状況、成果と課題について伺います。</p> <p>(3) 県内各行政関係者と新規来場者の参加について伺います。</p> <p>(4) 国の事業との連携や今後の方向性について伺います。</p> <p>3 福祉避難所の設置促進について</p> <p>(1) 沖縄県が福祉避難所の設置を進めていくためにどのように取り組むのか伺います。</p> <p>(2) 県立特別支援学校を福祉避難所にする場合、市町村との連携や避難所開設後の市町村職員と特別支援学校教職員との協力体制について話し合いや訓練はされているのか伺います。</p> <p>(3) 美咲特別支援学校保護者・関係者有志の方々から4916筆の署名が沖縄県教育委員会教育長と地元沖縄市長宛て県立特別支援学校を福祉避難所とする要望書と併せて提出されました。このような声に沖縄県教育委員会としてどのように答えていくのか伺います。</p> <p>4 学校における医療的ケア児に関する実態について</p> <p>(1) 医療的ケアが必要な幼児児童生徒数の過去3年間の推移について</p> <p>ア 特別支援学校に在籍する生徒数</p> <p>イ 幼稚園、小・中・高等学校に在籍する生徒数</p> <p>(2) 登下校のみ保護者等が医療的ケアを行うために付添いなど行っている生徒数と割合について伺います。</p> <p>(3) 医療的ケア児の付添いが必要な理由について伺います。</p> <p>(4) 通学方法について伺います。</p> <p>(5) 現状と課題について伺います。</p> <p>(6) 医療的ケア児通学支援事業の導入について伺います。</p> <p>5 道路交通政策について</p> <p>(1) 県道20号線の計画と施工スケジュール、工事現場の安全対策について伺います。</p> <p>(2) 主要渋滞箇所における渋滞ボトルネック対策の概要と沖縄アリーナ沿い国体道路・県道23号線の渋滞解消に向けた取組を伺います。</p> <p>(3) 池武当インターIC(仮称)の現状と今後の整備計画について伺います。</p> <p>6 我が会派の代表質問との関連について</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和6年第4回沖縄県議会(定例会)

12月10日(火)

順位	時間	氏名(党派)	答弁を求める者
2	17分	糸数 昌洋(公明党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 防災行政について</p> <p>(1) 北部豪雨災害への対応について、県の地域防災計画上の課題を伺う。</p> <p>(2) 自然災害が激甚化・頻発化する中で、災害想定及び応急対策計画を見直す必要があると考えるが見解を伺う。</p> <p>(3) 近年頻発する線状降水帯を伴う豪雨災害については、県内各地での広域災害を想定した応急対策を各自治体と協議して早急に講ずるべきである。見解を伺う。</p> <p>(4) 全国的に警戒区域外の土砂災害が増えている。デジタル標高地形図を用いた危険箇所の把握が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(5) 国は避難所の環境改善について、発災から48時間以内に、被災者が尊厳ある生活を営める最低基準を示す「スフィア基準」が満たされるよう、自治体に必要な支援を行う考えを示している。</p> <p>ア 「スフィア基準」とは何か。導入に向けた課題を伺う。</p> <p>イ 県は、各自治体の状況を確認・点検しながら、導入に向けて寄り添った支援を行うべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>2 観光目的税について 観光目的税制度の導入に関する検討委員会での審議結果がまとまった。通院等で島外に宿泊せざるを得ない離島住民も課税対象とすることについては納得がいかない。検討委員会においてどのような議論があり結論に至ったのか、経緯を伺う。</p> <p>3 教育行政について 久米島高校の離島留学生の寮である「じんぶん館」への舎監の配置について、町から県に対する要請とともに県議会へも陳情が出ている。教育的見地から、舎監配置の意義と必要性について見解を伺う。</p> <p>4 県営住宅について</p> <p>(1) 今年の県営住宅の空き家待ちの募集・入居の状況について伺う。</p> <p>(2) 居住者が退去した後の空き家の修繕状況について伺う。</p> <p>5 マイナンバーカードについて 12月2日より、健康保険証がマイナ保険証を基本とする仕組みに移行した。県民のマイナンバーカードの保有率と取得促進に向けた取組の進捗と課題を伺う。</p> <p>6 コロナ後遺症について 新型コロナウイルス感染症から回復後も長引く症状があり、日常生活に支障が生じている、いわゆるコロナ後遺症に苦しむ県民の状況と診療体制がどうなっているのか伺う。</p> <p>7 道路管理について 土木環境委員会において、県道の修繕を要する箇所について、那覇市の道路投稿情報アプリなどを参考に、地域住民の情報をいち早くキャッチできる仕組みを導入したらどうかと提案したが、見解を伺う。</p>			

一般質問通告表

令和6年第4回沖縄県議会(定例会)

12月10日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	17分	上原 章(公明党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 物価高対策について</p> <p>(1) 国は新たな総合経済対策の中で、来年の1月から3月までの電気・ガスの利用料金を支援しているが、県独自の対策として、電気・LPガス、プレミアムつき商品券等の支援推進はどうか。</p> <p>(2) 6月の補正予算で計上された「超高齢社会における地域つながり・支え合い推進事業」の取組状況を伺います。</p> <p>2 令和7年度実施の給食費無償化について</p> <p>(1) 県が打ち出している中学生給食費の2分の1補助について、県町村会から、市町村で人口規模や財政状況が大きく異なり地域間格差が懸念されるとし、県が統一して完全無償化を進めるよう要望しています。県の対応を伺います。</p> <p>(2) 小学生や就学援助対象者まで拡充する必要があると思うがどうか。</p> <p>3 学校現場(小中高)における「体育館等へのエアコン設置」について、取組及び推進状況を伺います。</p> <p>4 特別養護老人ホームの整備について</p> <p>(1) 県は、令和8年度末までに特別養護老人ホームを新たに300床整備するとしているが、取組状況を伺います。(課題、対策等)</p> <p>(2) 物価高騰に伴い、建設費・人件費等が上昇し、公募に影響が出ているとの声があるがどうか。</p> <p>(3) 県が査定している施設整備補助金等の見直し、増額を検討する必要があると思うがどうか。</p> <p>5 住宅確保要配慮者専用賃貸住宅家賃低廉化事業について</p> <p>(1) 成果を伺います。</p> <p>(2) 市町村の居住支援協議会の設置状況を伺います。</p> <p>6 一人暮らしの高齢者が増加しているが、民間アパート等に入居している生活費が少ない世帯への家賃支援はどうか。</p> <p>7 県内の道路における雑草対策について</p> <p>(1) 現状と課題、対策を伺います。</p> <p>(2) 石垣市より、沖縄県の管理道路における維持管理方式について、県管理道路全路線に「性能規定方式」を導入し、維持管理費の増額の要請があるが、対応を伺います。</p> <p>8 県道7号線小禄本通りにおける山下交差点付近の一部歩道の狭隘、傾斜について、県は対策を取っているが、進捗状況を伺います。</p> <p>9 我が会派の代表質問との関連について</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和6年第4回沖縄県議会(定例会)

12月10日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	大田 守(維新の会)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 教育行政</p> <p>(1) 給食費の無償化について</p> <p>ア 給食は義務教育の中で「食の教育」として位置づけられていると考えるが、県と教育委員会の見解を伺う。</p> <p>イ 中学生の給食費を令和7年度から2分の1補助する方針だが、人口規模や自治体の財政状況が異なるため地域間で保護者の負担額に格差が生じることが懸念される。県の見解を伺う。</p> <p>(2) 不登校について</p> <p>ア 令和5年度全国で、いじめは小・中・高校で約73万件、不登校の小中学生は約34万人となっている。沖縄県でもいじめ1万3522件、不登校は7013人と過去最多となっている。その対応について文科省・県はスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの配置・派遣など学校をサポートしていく体制が必要としているが、県内の状況と具体的対応を伺う。</p> <p>2 文化財行政</p> <p>(1) 文化庁は「国民が文化財を理解し、親しむ機会の充実を図るため、文化財の特性や保存に配慮しつつ、文化財の魅力が国民に伝わるよう、文化財の公開・活用を積極的に推進する施策を講じることが重要」としている。そこで伺う。</p> <p>ア 文化財の保護・活用に対する県の見解を伺う。</p> <p>イ 文化財の県指定、国指定数を伺う。</p> <p>3 農業行政</p> <p>(1) 農産品のブランド化について</p> <p>ア 沖縄独特の島野菜のブランド化で農産物の競争力強化が期待できます。島野菜のブランド化への現状と対策を伺う。</p> <p>イ 県内の畜産業において豚・牛・鶏が主要となっているが、沖縄の食文化においてヤギの位置づけは大きなものがある。しかしその形態は小規模飼育の状況となっている。観光産業が主要である沖縄にとってインバウンドの食対応を考えるとヤギ肉のブランド化で他地域との差別化を図ることが可能となる。その可能性を秘めたヤギ飼育頭数と出荷額を伺う。</p> <p>4 防災行政</p> <p>(1) 台風来襲地である沖縄県は、自然災害等への緊急対応態勢が整っていると考えていたが、11月8日～10日の県北部での豪雨災害では幸いにも人的被害はなかったがインフラ、農産物の甚大な損害が生じている。豪雨災害時の対応とその後の具体的対応を伺う。</p> <p>5 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

令和6年第4回沖縄県議会(定例会)

12月10日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	仲宗根 悟(おきなわ新風)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 本島北部地域における豪雨災害について</p> <p>ア 11月9日から10日にかけて、沖縄本島北部で起きたこれまでに経験したことのない記録的な大雨は、河川の氾濫による床上浸水、断水、崖崩れによる道路の寸断など甚大な被害をもたらしました。被害状況と今後の対策について伺う。</p> <p>イ 今回の災害においては、災害救助法の適用が受けられない事態になったが、県として被災者の支援を図らなければならない、その対応について伺う。</p> <p>ウ 河川氾濫に伴う、浸水被害による災害廃棄物の処理について県の対応を伺う。</p> <p>エ 農畜産物への影響について伺う。</p> <p>(2) 2025年度沖縄振興予算の確保について伺う。</p> <p>2 米軍基地問題について</p> <p>(1) 国頭村辺戸岬付近に普天間配備のUH1ヘリコプターが不時着した。知花国頭村長は「地域住民及び観光客に大きな不安を与える行為であり、万一墜落すれば大惨事につながりかねない」として、集落や観光地周辺上空での飛行訓練を実施しないこと、原因究明と再発防止を米側に働きかけることを求め抗議の意思を示した。県としての対応と対策について伺う。</p> <p>(2) 嘉手納基地の深夜・早朝の戦闘機の離発着訓練が度々行われる状況があるが、去る11月14日午前2時過ぎに98.6デシベルが記録された。WHOは睡眠妨害を引き起こす健康被害の実態を述べている。まさに常軌を逸する基地使用のありようである。県の対応と対策について伺う。</p> <p>(3) 米軍兵によるひき逃げ事件、器物損壊事件、飲酒運転による物損事故及び追突事故等、不祥事が多発している。抜本的な対策が望まれるが取組状況について伺う。</p> <p>3 比謝川の歴史・自然景観整備について</p> <p>(1) 比謝川下流堰の撤去に伴う下流一帯の保全対策をどのように考えているのか方向性を伺いたい。</p> <p>(2) 屋良城址公園から河口まで水面利用が可能となると思うが兩岸の自然景観整備等どのように捉えているか伺う。</p> <p>(3) 比謝川河口の歴史沿革、旧日本軍の特攻艇秘匿壕群など平和学習の場として後世に伝える歴史遺産となることから「平和学習広場の設置」など整備することについて伺う。</p> <p>4 伝統工芸産業の振興について</p> <p>(1) 長い歴史と風土の中で培われてきた伝統工芸は、地域経済の活性化や観光産業に重要な役割を果たしている。伝統工芸産業の現状と課題、今後の取組を伺う。</p> <p>(2) 伝統工芸品は熟練した職人の手作りが魅力である。従事する人材確保と育成について伺う。</p> <p>5 我が会派の代表質問との関連について</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和6年第4回沖縄県議会(定例会)

12月10日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	比嘉 瑞己(日本共産党沖縄県議団)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 防災行政について (1) 市町村からの河川しゅんせつに関する要望と、これまでの県の対応を問う。</p> <p>2 辺野古新基地建設問題について (1) うるま市宮城島からの土砂搬出について、農道への影響を問う。 (2) 辺野古新基地建設ではどれだけの海砂を使用する計画となっているか。</p> <p>3 沖縄県動物愛護管理条例案について (1) 保護猫活動をしているボランティア団体の意見についてどのように反映させたか。 (2) 飼い主のいない猫については、県や市町村が主体的役割を果たすべきである。条例制定後の取組を問う。</p> <p>4 離島振興・平和行政について (1) 安全・安心な水道水を安定的に供給するために、久米島町、渡名喜村を水道広域化事業の対象にすべきである。今後の計画を問う。 (2) 島の美しい景観を形成し、台風などの自然災害から生活を守るためにも、渡嘉敷村での無電柱化事業を推進すべきである。県の対応を問う。 (3) 座間味村に沖縄戦の特攻艇秘匿壕が存在する。遺骨収集を行うとともに、戦争遺跡として保存・活用すべきではないか。県の対応を問う。</p> <p>5 感染症拡大の予防対策について (1) 県独自の新型コロナウイルス感染注意報・警報の基準をつくるべきではないか。 (2) 様々な感染症対策として、下水処理場での病原体調査事業を実施すべきである。見解を問う。</p> <p>6 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

令和6年第4回沖縄県議会(定例会)

12月10日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	17分	平良 識子(沖縄社会大衆党)	知事 関係部長等
質問要旨			

1 伝統工芸の支援について

琉球国の歴史から生み出された特異な沖縄文化を支える国指定の伝統的工芸品及び伝統工芸の継承発展や、地域経済を支えるためにも、生産者や組合への行政支援の拡充が必要である。以下、伺う。

- (1) 生産者の収入の現状、また課題について
- (2) 伝統的工芸品の各事業協同組合への支援について

2 多胎家庭への支援について

双子、三つ子を育てる家庭は、育児の困難さによる心身の疲弊に加え、経済的負担も倍に重くなる等、行政支援を当事者から望まれている。就学時の経済的支援、ピアサポート事業、養育支援について伺う。

3 教育行政について

- (1) 県立高等特別支援学校の定員について、入学者選抜における倍率の高い高等学校においては、定員増の見直しを図るよう求めるが、現状及び今後の見通しはどうか伺う。
- (2) 教職員における臨時的任用職員と再任用職員の給与について、それぞれの給与比較はどうか伺う。
- (3) 教職員の特殊業務手当について、現状の1日3時間以上または8時間以上の申請から、月合算の変更等へ改善を求めるがどうか。

4 障がい者グループホームについて

県内の障がい者グループホームにおいて、行政への虚偽申請を行い、実態とは異なる運営により水増し請求し給付がなされていると見られる問題について、以下伺う。

- (1) 実態調査について伺う。
- (2) 設置指定の厳格化、サービス管理責任者の責任の明確化、運営実態の抜き打ち調査の実施が今後求められるがどうか。

5 児童相談所について

児童相談所への相談件数が過去最多と年々増加している。以下、伺う。

- (1) 沖縄県における児童相談所の相談対応件数は、全国と比較しどのような現状にあるのか。
- (2) 国基準の必要な専門職は、現在何名不足しているのか。
- (3) 那覇市に所在する中央児童相談所について、相談対応の那覇市民に占める件数割合、また中核市でも設置が可能となっているが、那覇市への移管について、県としての見解を伺う。

6 本島北部豪雨災害について

- (1) 現在までに把握できている被害状況において、災害救助法及び特別交付税措置がなされた場合の算定額について。また民間事業者の多くにおいても多大な被害が生じており、損害補償について、県としての対応を伺う。
- (2) 災害救助法が適用されるよう、国に働きかけるべきである。見解と対応を伺う。
- (3) 災害救助法における特別交付税に関する省令4条1項1号事項1の適用について、国とどのような調整を図っているのか。

7 性の多様性条例について

- (1) 沖縄県性の多様性に関する条例制定に向けて、進捗状況を伺う。

一般質問通告表

令和6年第4回沖縄県議会(定例会)

12月10日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
8	17分	次呂久 成崇(おきなわ新風)	知事 関係部長等

質問要旨

1 知事の政治姿勢について

- (1) 10月27日、与那国駐屯地で日米共同統合演習に参加していた陸上自衛隊のV22オスプレイの左翼が地面と接触する事故を起こし今なおとどまっている。今回の事故は操作ミスが原因ということだが、これまで県内空港に米軍及び陸上自衛隊のオスプレイが機材不具合のため緊急着陸した回数について伺う。
- (2) 自衛隊と米軍が台湾有事を想定して策定中の日米共同作戦計画に南西諸島とフィリピンへの米軍ミサイル部隊展開が盛り込まれることが分かった。この計画には南西諸島に住む我々住民の存在は考慮されていない。日本政府内では「台湾有事は日本有事」との認識が広がっているが「台湾有事」は本当に差し迫った脅威なのか県の見解を伺う。

2 土木環境行政について

- (1) 都市計画法に基づく開発許可制度の申請について、年間の申請数と許可数、開発許可後の進行管理の把握状況について伺う。
- (2) 開発許可申請は工事着手予定日と工事完了予定日を記載し届け出ないといけないが、その工事着手予定日を2年以上経過しても工事着手されず放置されている件数及び工事完了年月日を過ぎても完了していない件数について伺う。
- (3) 今年度のサンゴ白化現象の状況を把握するため、9月上旬に西表石垣国立公園の石西礁湖において調査が行われ、全調査地点の平均白化率が84%であることが確認された。県の見解と今後の保全対策について伺う。

3 農林水産業行政について

- (1) 畜産農家への飼料価格高騰対策として、各家畜保健衛生所に相談窓口を設置し粗飼料生産に対する技術指導等を強化しているということだが実績と相談内容、成果について伺う。
- (2) 本県の気候や地理的特性を最大限に生かした持続可能な農林水産業振興の取組は重要である。水産資源の減少や漁獲制限の多様化、気候に左右される養殖業、担い手不足、給餌や人件費等のコスト増加など様々な課題に対し県の基本方針について伺う。
- (3) 県の重点施策「農林水産業の振興」において、ICT技術を活用したスマート水産業の取組は特に重要だと考えるが県の取組について伺う。

4 教育・福祉医療行政について

- (1) 県立病院は一般医療のほか、離島・僻地医療、小児・周産期医療など不採算医療、救急医療など地域で不足する医療、民間医療機関では対応が困難な特殊医療など政策的な医療を担っていることから厳しい経営状況となっている。その現状と課題について伺う。
- (2) 県立八重山病院では脳外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線科が1名の配置、眼科は医師不在が続いている。がん診療では放射線治療が受けられず乳がん、婦人科のがんの手術ができないといった状況から約4割の患者が島外で診療を受けている。通院費等の補助事業もあるが対象疾患に限られ患者の負担が大きい。改めて離島の県立病院の医師・看護師の確保策と患者への支援について伺う。
- (3) 介護保険サービスを提供する介護事業所数及び人手不足の現状について伺う。
- (4) 離島の小中学校の施設は老朽化が進み、改修・修繕箇所も多く財源が厳しいため対応ができず各自治体はその対応に苦慮している。広域行政を担う県として財政支援ができないのか伺う。

5 離島振興について

- (1) 県が実施している沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業において、同じ小学6年生であっても12歳は大人運賃、12歳未満は小児運賃適用で差額が生じている。離島の子ども

たちが平等に沖縄本島での大会や修学旅行に参加できるよう年齢で区別ではなく、小学校6年生全員への小児運賃適用を実施できないか伺う。

- (2) 航空会社による航空ダイヤの変更や人手不足による離島定期航路減便等の影響により、児童生徒の大会派遣等では前日に移動し宿泊せざるを得ない事案が発生している。さらなる宿泊費用の負担増は離島住民にとっては二重の負担となっている。同じ県民でありながら離島住民だけこのような負担を強いられる状況について見解を伺う。

6 我が会派の代表質問との関連について